

横手市観光施設事業経営戦略

団 体 名 : 横手市

事 業 名 : 市営温泉施設特別会計

策 定 日 : 令和 6 年 3 月

計 画 期 間 : 令和 6 年度 ~ 令和 15 年度

※複数の施設を有する事業にあつては、施設ごとの状況が分かるよう記載すること。

1. 事業概要

(1) 事業形態

法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	非適	事 業 開 始 年 度	平成17年度
事 業 の 種 類	温泉施設	施 設 名	休養センターさくら荘 平鹿ときめき交流センターゆっ ふる 大雄ふるさとセンター1号館・3号 館
職 員 数	55 人		
事 業 の 内 容	<p>【さくら荘】(S57築) ・林業者等の健康増進を目的とした温泉宿泊施設となります ・宿泊、日帰り、宴会等旅館機能を持つほか、コテージやバーベキュー設備も併設されております</p> <p>【ゆっふる】(H7築) ・交流休養の場の提供を通じた市民の健康福祉増進を目的とした温泉宿泊施設となります ・日帰り機能がメインとなり、宿泊定員は非常に少ない数値となっております</p> <p>【大雄ふるさとセンター(ゆとりおん大雄)】(H4築) ・ゆとりある市民生活の実現、福祉向上等を目的とした温泉宿泊施設となります ・宿泊、日帰り、宴会等機能を持つ旅館施設となっております</p>		
民 間 活 用 の 状 況	ア 民間委託	実施していません	
	イ 指定管理者制度	実施していません	
	ウ PPP・PFI	実施していません	

(2) 料金形態

料金の概要・考え方	<p>【さくら荘】 ・宿泊料＝和室1室2人利用5,100円 等 / 入浴料＝大人400円 等</p> <p>【ゆっぶる】 ・宿泊料＝大人4,000円 等 / 入浴料＝大人3時間以内460円 等</p> <p>【ゆとりおん大雄】 ・宿泊料＝大人1室2名以上4,000円 等 / 入浴料＝大人500円 等</p> <p>※各施設とも、それぞれの施設設置条例により規定しております ※さくら荘、ゆとりおん大雄は、条例とは別に、宴会における料金を設定しております ※他民間施設との競合、運営コスト圧縮を考慮し、R1.10.1の消費税増税に合わせ、料金を値上げいたしました</p>		
料金改定年月日 (消費税のみの改定は含まない)	令和元年10月1日		

(3) 現在の経営状況

年間利用状況 ※単位を明記すること ※過去3年度分を記載	R2	212,397人	R3	211,547人	R4	240,537人
経常収支比率 (又は収益的収支比率) ※過去3年度分を記載	R2	98.59%	R3	99.65%	R4	99.21%
経費回収率 ※過去3年度分を記載	R2	52.41%	R3	53.06%	R4	61.65%
他会計補助金比率 ※過去3年度分を記載	R2	45.58%	R3	45.80%	R4	37.12%
有形固定資産減価償却率 ※過去3年度分を記載	R2	76.23%	R3	78.63%	R4	80.86%
企業債残高対料金収入比率 ※過去3年度分を記載	R2	0%	R3	0%	R4	0%

【上記の収益、資産等の状況等を踏まえた現在の経営状況の分析】

- ・利用者数はコロナ禍発生前まで漸減傾向にあり、更にコロナ禍の影響が甚大だったR2年度は、H30年度比約20%減と大きく落ち込みました。利用者数の減に伴い、収益も大幅に悪化いたしました。R4年度は回復傾向が伺える状況にあります
- ・経費回収率が前年度比約8.5ポイント増となり、他会計補助金比率は同8.5ポイント減となりました。本業の収益回復により、他資金への依存度低位化が図られました
- ・施設は建設後28-41年経過しております。建物&設備とも老朽化の進行著しく、直近の有形固定資産減価償却率は80.86%と耐用年数の8割強まで経過、一部の施設は90%を優に超える状況となっております
- ・簿価的には一定の価値を有する施設となっておりますが、建物修理&設備更新コスト、また、コロナ禍を経た消費行動の変容等考慮するに、収益性の劇的な回復は容易には見通せないものと想定しております

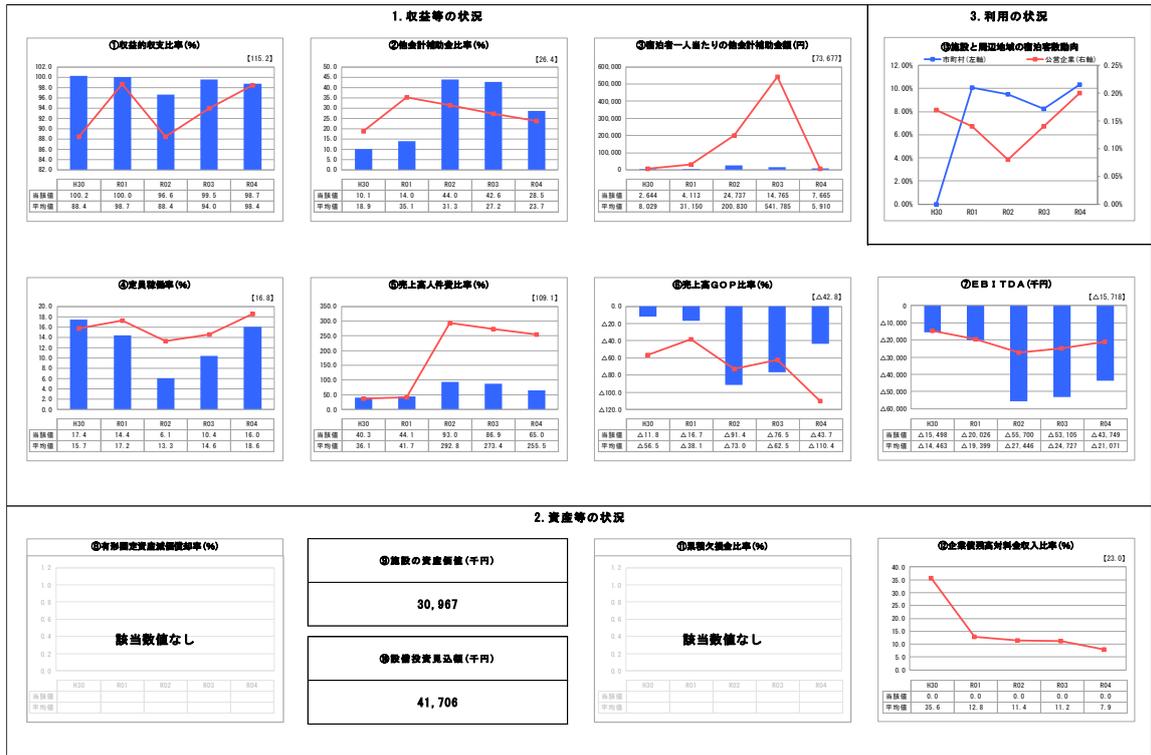
【各施設の経営比較分析表(令和4年度)】

★…さくら荘

・新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が大幅に減少、R2年度以降、他会計補助金に大きく依存する状況となりました。売上のうち利益率の高い宴会の占める割合が大きいため、依存割合がコロナ禍前のR1年度比30ポイント上昇いたしましたが、直近収益は回復傾向顕著であり、今後の割合低下が見込まれます。

業種名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 1 B 2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物面積(m ²)	宿泊定員数(人)	
該当数値なし	該当数値なし	2,095	94	

客単価(円)	指定管理費制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
8,102	無	0.0
パリアフリー等の基準適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi-Fi設置
無	78.3	有

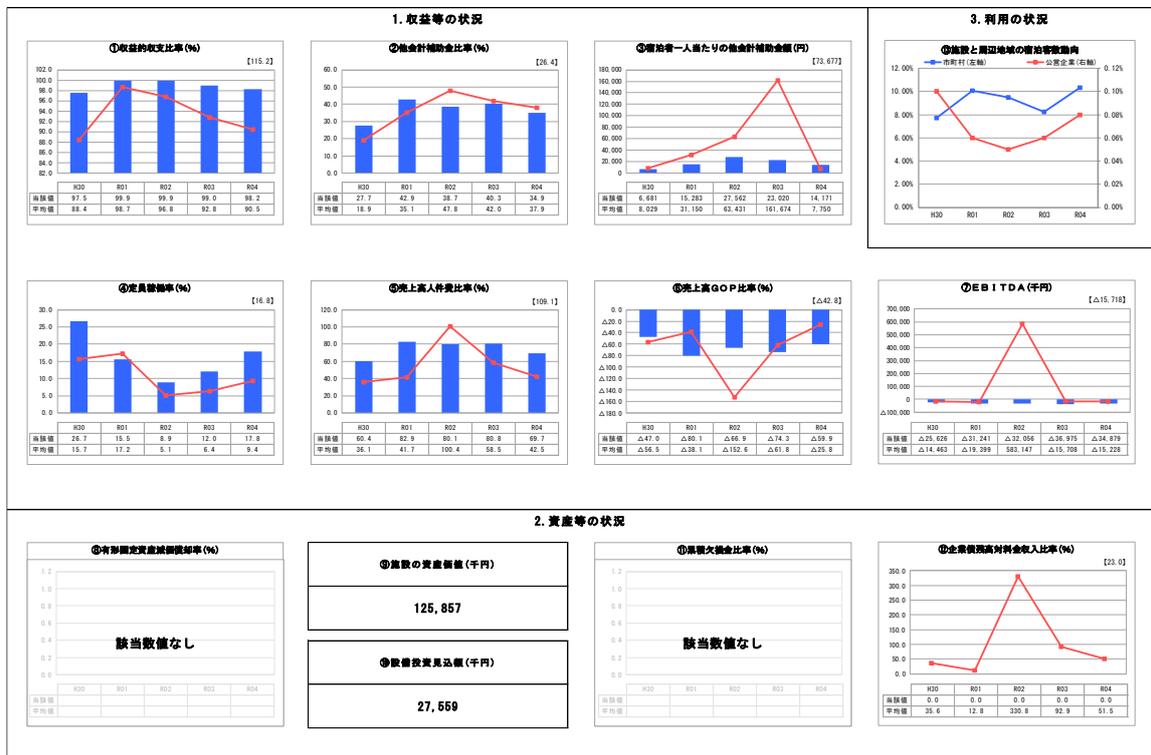


★…ゆっふる

・利用者数は横ばい傾向が続いておりますが、当施設は日帰り客の利用が多く、結果、他会計補助金比率は高止まり傾向となっております。なお、R1年度以降、売上高人員費比率が80%超となっておりますが、R4売上高が過去10年で最高を記録するなど収益は回復しており、今後、類似施設割合に近づくことが期待されます。

業種名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 1 C	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物面積(m ²)	宿泊定員数(人)	
該当数値なし	該当数値なし	1,562	35	

客単価(円)	指定管理費制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
4,400	無	0.0
パリアフリー等の基準適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi-Fi設置
無	84.2	無



★…ゆとりおん大雄

・コロナ禍発生以降、他会計補助金比率増加傾向顕著であり、R4年度も50%を超える状況となりました。特に宿泊部門の落ち込みが激しく、1人当たりの他会計補助金額はR1年度比約2倍と未だ回復していません。定員稼働率も類似施設平均値に比し大幅に低い傾向が継続しており、収益力の回復には時間を要するものと想定しております。

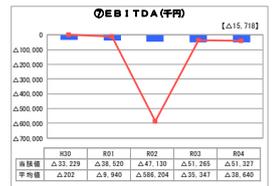
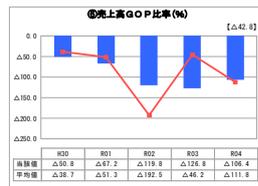
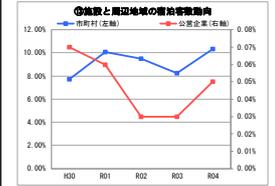
業種名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休業宿泊施設	A 2 目 1	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	建物延床面積 (㎡)	宿泊定員数 (人)	
該当数値なし	該当数値なし	2,413	133	

客原価 (円)	特定管理費創設の導入	インターネットによる予約割合 (%)
6,923	無	0.0
パリアフリー等の基準適合性	トイレ洋式化率 (%)	Wi-Fi設置
無	0.1	有

1. 収益等の状況



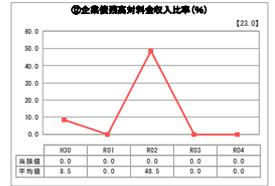
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑩施設の資産価額 (千円)	186,968
⑪設備改良見込額 (千円)	189,371



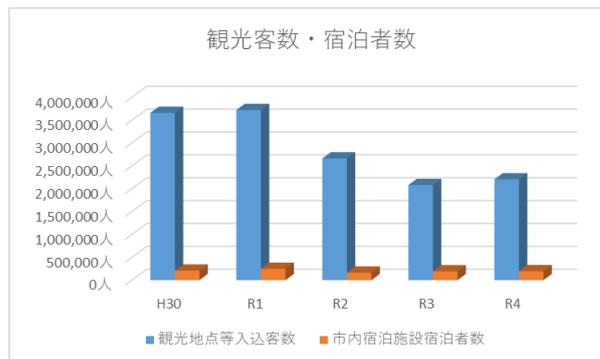
【宿泊者数(観光客数)の実績】

・過去5年間の当市入込み客数、宿泊者数は、R元年にリニューアルオープンした増田まんが美術館入館者数が好調だったこと、合わせて祭り等イベント参加者数も増加したことにより、R元年は大幅増となりましたが、R2.3以降の新型コロナウイルス感染症の拡大、そのことに伴う日本経済や社会活動への影響甚大化により、R2年は前年比大幅減に転じております
 ・コロナ禍以降、休館状態となっている施設が複数あり、市内宿泊キャパシティ自体が減少しておりますが、営業施設単体ベースではコロナ禍以前以上の戻りを達成している施設も散見され、休館施設の営業再開等による更なる復調を期待しています

★…観光客数(入込者数) & 宿泊者数の推移

(単位:人)

事項	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	年当たり人数 (H30-R4)	計画目標値 (R7=2025) 達成度
観光地点等入込客数	人数	3,657,325	3,720,244	2,661,904	2,079,515	2,204,672	4,000,000
	前年比増減率	4.11	1.72	-28.45	-21.88	6.02	55.12%
市内宿泊施設宿泊者数	人数	209,461	248,488	165,681	193,416	196,131	265,000
	前年比増減率	-6.01	18.63	-33.32	16.74	1.40	74.01%

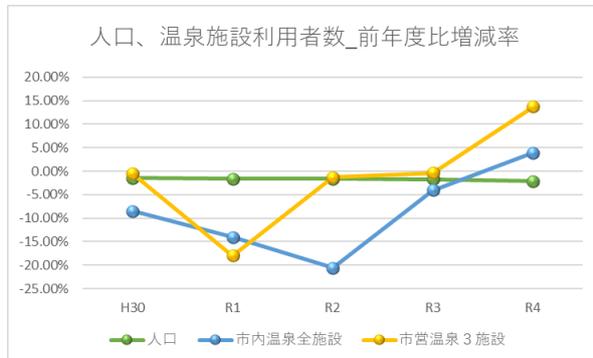
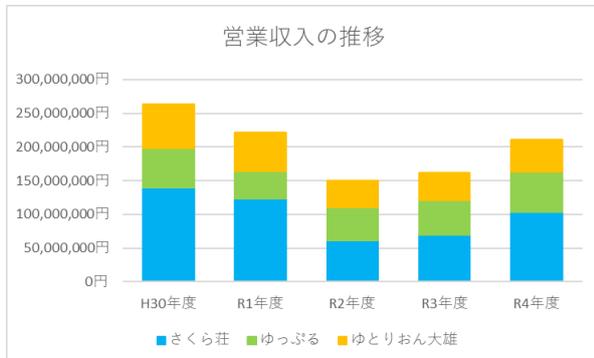


【温泉施設 収入の実績】

★…市内温泉 利用者数 (H30⇒R4)
 ・市の人口は6.91%減、市内全温泉施設利用者数は31.96%減となり、人口減少割合に比べ全温泉施設の利用者数減少割合は約5倍の結果となりました。コロナ禍が大きな影響を与えた結果と推察されますが、それ以前より恒常的に減少しており、温泉需要の総体規模そのものの縮小傾向が顕著と判断されます

★…市営温泉3施設 利用者数 (H30⇒R4)
 ・5年間で8.40%減少し、人口減少割合より高くなりましたが、市内全温泉施設の減少割合よりは低い数値となりました。当市内の温泉施設は日帰り利用割合が高い状況となっており、他の民間温泉施設と競合していることも考慮するに、民業圧迫の側面が否めないものと判断しております

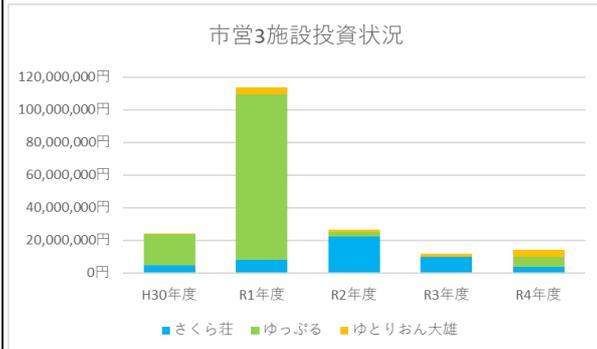
★…市営温泉3施設 収入 (H30⇒R4)
 ・各施設ごとの収入は、さくら荘26.21%減、ゆっぶる3.03%増、ゆとりおん大雄26.58%減となっております。日帰り機能がメインのゆっぶるはほぼ横ばいとなっておりますが、温泉旅館と位置付けられる2施設はコロナ禍の影響がまだ払拭されておらず、宴会収入等については回復途上となります
 ・なお、コロナ禍の影響拡大前のR1年度ベース比較 (H28⇒R1) でも、さくら荘20.32%減、ゆっぶる19.45%減 (大規模改修に伴い4か月休館)、ゆとりおん大雄27.79%減となっており、基本的には収入減少の流れが続いております
 ・因みに、利用者数の日帰り割合は全施設とも90%超であり、当市の公共温泉施設は観光施設ではなく、地域の皆様が利用するコミュニティ施設と位置付けられます



【投資の状況】

・施設建設以降、大型設備等を含む大規模改修は殆ど実施していないことから、老朽化の進行が顕著となっております。施設ごとの有形固定資産減価償却率は、さくら荘96.62%、ゆっぶる65.65%、ゆとりおん大雄79.16%となりました
 ・合併以降 (H17.10～)、横手市が投じた施設の改修、設備更新等のコスト総額は約4億5,600万円、施設ごとの額は、さくら荘1億6,900万円、ゆっぶる2億500万円、ゆとりおん大雄8,100万円となっております

★…過去5年間の投資コスト



(単位: 円)

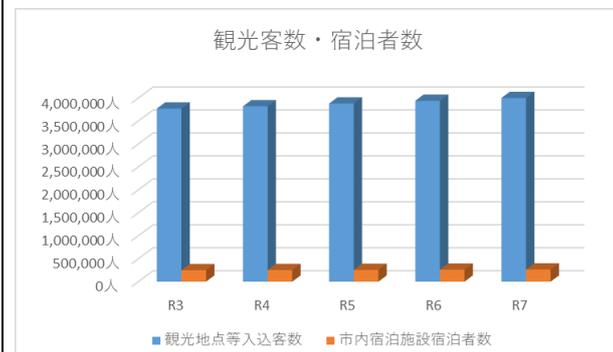
事項	H30	R1	R2	R3	R4
さくら荘	4,661,144	8,115,060	22,311,300	9,630,500	3,392,000
ゆっぶる	19,028,520	101,225,300	2,952,400	0	6,255,720
ゆとりおん大雄	518,400	4,138,242	1,254,000	2,137,300	4,653,000
投資額計	24,208,064	113,478,602	26,517,700	11,767,800	14,300,720

2. 将来の事業環境

(1) 宿泊客数(観光客数)の見通し

・R3.4策定の「第3次横手市観光振興計画」(計画期間: R3-7年度)では、過去3年間の単年度当たり平均増減率を元に、R1年(基準年)から同7年まで、年約2%弱の緩やかな増加を見込んでおりましたが、コロナ禍による温泉宿泊施設の休業継続や消費行動の変容等考慮するに、現状では当初目標値の完全達成は困難と判断しております

★…「第3次横手市観光振興計画」における見通し



事項	R3	R4	R5	R6	R7
観光地点等入込客数	3,770,000	3,820,000	3,880,000	3,940,000	4,000,000
市内宿泊施設宿泊者数	250,000	253,000	256,000	260,500	265,000

※計画におけるR7年目標値は、観光客数400万人、宿泊者数265,000人と見込んでおります。入込客数は目標値との乖離が大きい状況となりますが、宿泊者数はコロナ禍前の数値に戻りつつあり、休館施設の再開状況によっては達成できる可能性があります

(2) 料金収入の見通し

- ・当市人口動態、消費行動や生活様式の変容等に加え、行政経営の施設が集客に注力し過ぎることは民業圧迫を助長する側面があることを考慮し、利用者数、料金収入ともに減少することを前提とし推計いたしました
- ・利用料金はR1.10に値上げしておりますが、収益改善を図るためには、今後の値上げについて検討する必要があるものと判断しております

【利用者数】

- ・R5年度までの実績やコロナ禍の影響、直近R5年度の利用状況等を踏まえ、施設ごとの単年度当たり減少率を下記といたしました

★…施設ごとの利用者数減少率と考え方

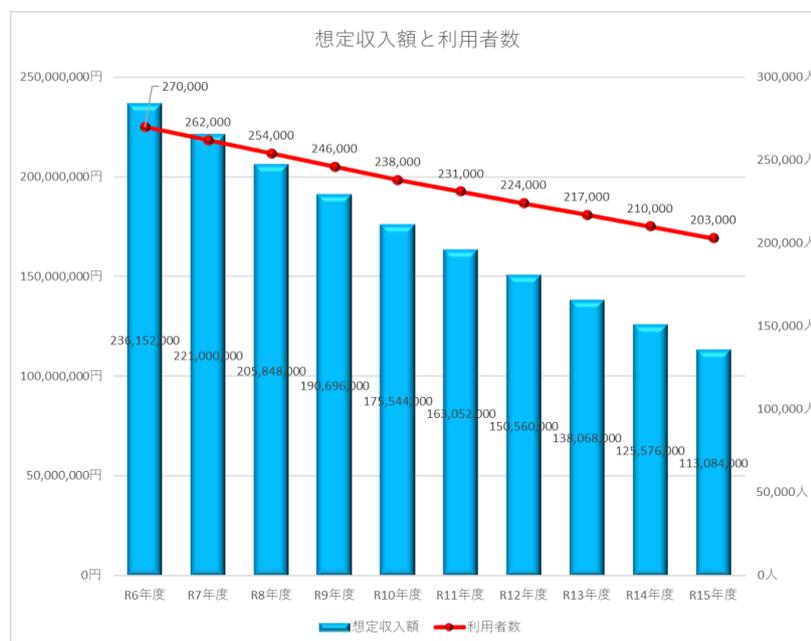
施設名	減少率	考え方
さくら荘	5.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・5年間（H30-R4年度）の単年度当たり平均減少率は6.9%となりましたが、R5年度は宿泊、宴会需要の回復傾向が顕著となっております ・そのことを踏まえ、目標減少率はコロナ禍前5年間（H27-R1年度）の平均値といたしました
ゆっぶる	1.5%	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は、改修工事に伴う長期休館の年度を除き、ほぼ10万人前後で推移しております ・今後も、利用動向には大きな変化はないものと想定し、市の単年度当たりの人口減少率（5年平均1.73%）を目安に目標値といたしました
ゆとりおん大雄	2.5%	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響が顕著となっておりますが、さくら荘同様、宿泊、宴会需要の回復傾向が伺えます ・施設の総利用者数もコロナ禍前（H30年度）の数値への戻りが期待できる状況であり、目標減少率はコロナ禍前の5年間平均値といたしました

【料金収入】

- ・施設全体としての収支見込みを積算するため、過去5年間の実績値より、まずは利用者が1人減った場合の「収入減少額」「支出減少額」（＝利用者1人当たりの影響額）を算出いたしました
- ・利用者の想定減少数と上記影響額により、単年度ごとの減少収入総額、減少支出総額を積算し、その差額により収支の見通しといたしました

★…施設ごとの利用者1人減による影響額

事項	ゆっぶる		さくら荘		ゆとりおん大雄	
	収入減額	支出減額	収入減額	支出減額	収入減額	支出減額
影響額（円）	537	421	2,660	1,565	1,720	1,448



(3) 施設の見直し

- ・将来の投資額を把握するため、R3年度に施設ごとの改修工事コンサルティングを実施いたしました
- ・必要な改修工事のうち、重要度が高いと判断される工事（優先度Aランク、Bランク）を計画値に盛り込んでおります
- ・なお、下記投資額は、あくまでも現時点における必要見込想定額であり、資材や人件費の高騰、老朽化の進行度合等により、今後変動する数値となります

【施設ごとの投資額】

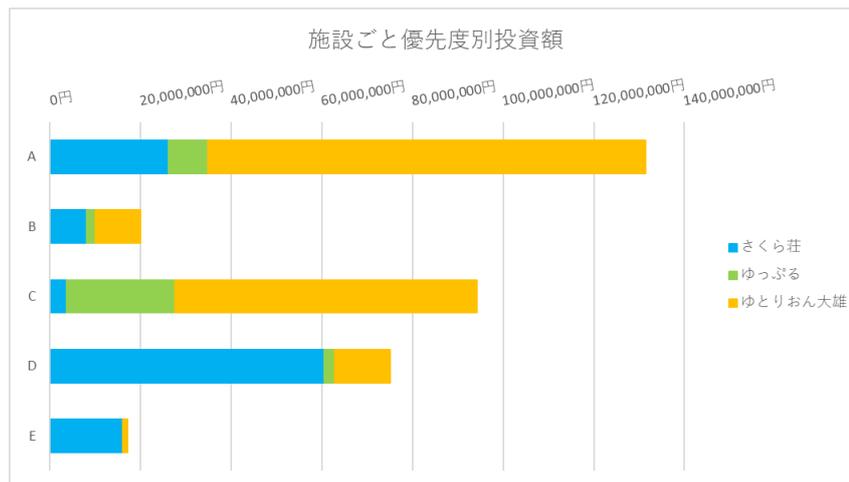
施設名	総投資コスト (※1)	優先度別 (※2)					計
		A	B	C	D	E	
さくら荘	161,832,000	26,200,000	8,000,000	3,640,000	60,580,000	16,000,000	114,420,000
ゆっぶる	56,100,000	8,600,000	2,100,000	23,900,000	2,200,000	0	36,800,000
ゆとりおん大雄	256,861,000	96,620,000	9,800,000	66,650,000	12,200,000	1,140,000	186,410,000

※1「総投資コスト」= 共通仮設、現場・一般管理、消費税含みます

※2「優先度別」= 直接工事費のみの金額であり、共通仮設費等は含んでおりません

【優先度別の考え方】

優先度	優先度別の考え方
A	・現状のまま使用を継続した場合、営業に支障を来す可能性がある事項
B	・優先度「A」より必要性低位だが、いずれ対応が必要となる事項
C	・取捨選択⇒必要度に応じ対応の可否を検討する事項
D	・営業上、対応した方が良いが、直近、対応せずとも支障を来さない事項
E	・営業に直接的な支障は来さないが、予防や投資等考慮する事項



(4) 組織の見直し

【各施設の職員数】

- ・各施設とも、常勤職員1名+非常勤職員複数名により温泉や宿泊サービス等を提供しております
- ・現状の各施設ごとの提供サービスを維持するため、当面は現従業員体制を維持することとしております
- ・なお、営業収支や施設維持コストの推移等を考慮し、必要に応じて施設機能やサービス提供体制を見直した場合は、適正な人員配置に改めてまいります

★…施設ごとの職員数 (R4年度)

(単位: 人)

事項	ゆっぶる	さくら荘	ゆとりおん大雄	計
常勤	1	1	1	3
非常勤	15	25	12	52
計	16	26	13	55

3. 経営の基本方針

★…市民の皆様の健康増進や交流促進、福祉の向上を図るため、施設の適切な維持管理に努めるとともに、施設運営の合理化、効率化を進めることにより、経営の健全化を推進いたします

★…現状の全市営施設行政直接運営体制を見直し、経営の民営化を推進します。さくら荘、ゆっふるは指定管理者制度の導入を、ゆとりおん大雄については、民間事業者への譲渡を図ってまいります

4. 投資・財政計画(収支計画)

【●さくら荘】

(1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	・R3年度実施の改修工事コンサルティング結果に基づき、老朽化が進む建物、設備のうち改修更新必要度の高い事項について計画的に対応し、温泉サービス等の適切かつ安全な提供を図ります
-----	---

【必要度の高い投資内容】

「給水設備改修」=設置後39年経過。架台や本体の腐食進行(13,600千円)

「源泉ポンプ室改修」=躯体老朽化顕著(1,300千円)

「大浴場感染防止対策」=室内換気設備等の更新(4,300千円)

「各配管及び器具類補修」=経年劣化顕著(2,100千円)

※上記概算コストは直接工事費のみの金額であり、共通仮設費等は含んでおりません

※当該コストについては、一般会計からの繰り入れにより対応いたします

② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	・基本的には料金収入を財源とし運営することとなりますが、利用者数や料金収入の劇的な回復が見込めない中、温泉施設の存続を図るため、一般会計からの繰り入れを実施いたします
-----	---

【料金収入】

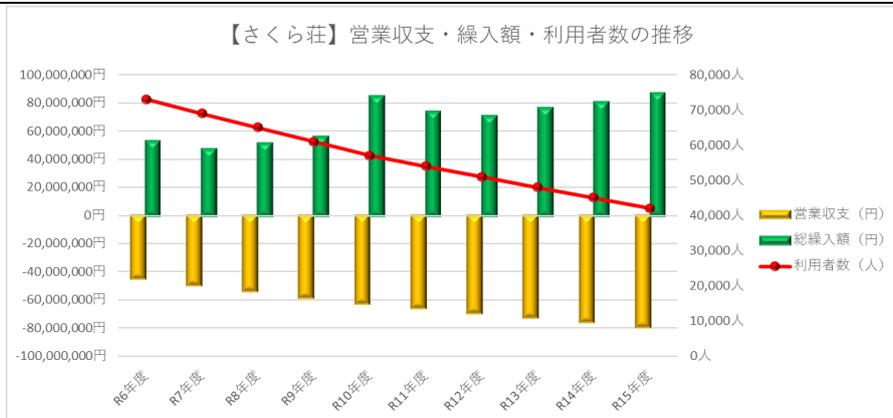
・当市人口動態、消費行動や生活様式の変容等に加え、行政経営の施設が集客に注力し過ぎることは民業圧迫を助長する側面があることを考慮し、利用者数、料金収入とも減少することを前提としています

・基準となるR6年度収入は、R5年度利用者数がコロナ禍前数値に近づくことも想定されることから、R5年度決算見込値と同額といたしました。翌年度への繰越金は最小限に留めることとし、利用者数の減少も見込みながらR15年度までの推計値を算出しておりますが、今後の経営状況等を確認しながら適宜、計画値を見直します

・また、適切な施設、設備改修等を実施することにより、利用者の利便性向上を図ります

【一般会計からの繰り入れ】

・施設の経営、維持に不足する分については、一般会計からの繰り入れを実施いたします。なお、利用者数&収入とも減少見込みにつき、繰入額が増加する計画としております



③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

【委託料】

・施設本体や温泉供給設備の保守点検、水質検査等の委託であり、引き続き、実施いたします

【人件費】

・正職員1名のほか、会計年度任用職員による現運営体制を維持します

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

※投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。

また、(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

① 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	・指定管理者制度の導入を図ります
投資の適正化	・老朽設備等の計画的な更新を実施することにより、投資額の平準化を図ります
その他の取組	・特筆すべき事項はありません

② 今後の財源についての考え方・検討状況

料金	・施設の経営や繰入額の状況により、料金の見直しを検討します
稼働率・利用者数	・特筆すべき事項はありません
企業債	・特筆すべき事項はありません
繰入金	・特筆すべき事項はありません
資産の有効活用等による収入増加の取組	・特筆すべき事項はありません
その他の取組	・特筆すべき事項はありません

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委託料	・特筆すべき事項はありません
管理運営費	・電気料金等経営コスト上昇顕著につき、更なるコスト圧縮の手法を検討します
職員給与費	・特筆すべき事項はありません
その他の取組	・特筆すべき事項はありません

5. 公営企業として実施する必要性など

事業の意義、提供するサービス自体の必要性	・市民の皆様の健康増進や交流促進、福祉の向上等に寄与しており、必要性があるサービスと判断します
公営企業として実施する必要性	・市民の皆様の健康増進や福祉の向上を図ることを目的としており、公営企業として事業を実施する必要性があると判断します

6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

<p>経営戦略の事後検証、改定等に関する事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> 概ね3年をメドに、当戦略と実績との乖離状況等を確認いたします 当戦略は、社会情勢や対処すべき課題の変化等に応じ、適宜、改定いたします
----------------------------	---

【●ゆっぷる】

- (1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり
- (2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

<p>目 標</p>	<p>・R3年度実施の改修工事コンサルティング結果に基づき、老朽化が進む建物、設備のうち改修更新必要度の高い事項について計画的に対応し、温泉サービス等の適切かつ安全な提供を図ります</p>
------------	--

【必要度の高い投資内容】

- 「浄化槽蓋取替」=蓋、枠等に腐食あり(3,500千円)
- 「換気設備取替」=経年劣化顕著(1,000千円)
- 「吹抜塔屋改修」=吹抜内部に漏水発生(100千円)

※上記概算コストは直接工事費のみの金額であり、共通仮設費等は含んでおりません
 ※当該コストについては、一般会計からの繰り入れにより対応いたします

② 収支計画のうち財源についての説明

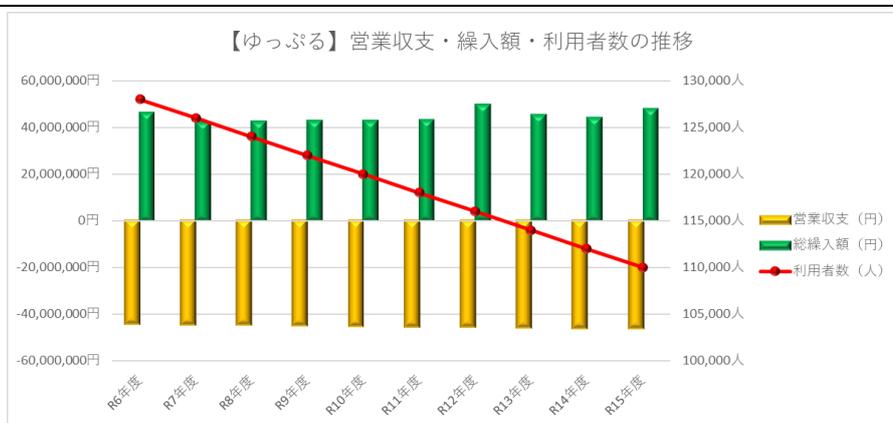
<p>目 標</p>	<p>・基本的には料金収入を財源とし運営することとなりますが、利用者数や料金収入の劇的な回復が見込めない中、温泉施設の存続を図るため、一般会計からの繰り入れを実施いたします</p>
------------	--

【料金収入】

- ・当市人口動態、消費行動や生活様式の変容等に加え、行政経営の施設が集客に注力し過ぎることは民業圧迫を助長する側面があることを考慮し、利用者数、料金収入とも減少することを前提としています
- ・基準となるR6年度収入は、直近の利用者数に大きな変動が見られないことから、R5年度決算見込値と同額といたしました。翌年度への繰越金は最小限に留めることとし、利用者数の減少も見込みながらR15年度までの推計値を算出しておりますが、今後の経営状況等を確認しながら適宜、計画値を見直します
- ・また、適切な施設、設備改修等を実施することにより、利用者の利便性向上を図ります

【一般会計からの繰り入れ】

- ・施設の経営、維持に不足する分については、一般会計からの繰り入れを実施いたします。なお、利用者数&収入とも減少見込みにつき、繰入額が増加する計画としております



③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

【委託料】

- ・施設本体や温泉供給設備の保守点検、水質検査等の委託であり、引き続き、実施いたします

【人件費】

- ・正職員1名のほか、会計年度任用職員による現運営体制を維持します

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

※投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。

また、(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

① 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	・指定管理者制度の導入を図ります
投資の適正化	・老朽設備等の計画的な更新を実施することにより、投資額の平準化を図ります
その他の取組	・特筆すべき事項はありません

② 今後の財源についての考え方・検討状況

料金	・施設の経営や繰入額の状況により、料金の見直しを検討します
稼働率・利用者数	・特筆すべき事項はありません
企業債	・特筆すべき事項はありません
繰入金	・特筆すべき事項はありません
資産の有効活用等による収入増加の取組	・特筆すべき事項はありません
その他の取組	・特筆すべき事項はありません

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委託料	・特筆すべき事項はありません
管理運営費	・電気料金等経営コスト上昇顕著につき、更なるコスト圧縮の手法を検討します
職員給与費	・特筆すべき事項はありません
その他の取組	・特筆すべき事項はありません

5. 公営企業として実施する必要性など

事業の意義、提供するサービス自体の必要性	・市民の皆様の健康増進や交流促進、福祉の向上等に寄与しており、必要性があるサービスと判断します
公営企業として実施する必要性	・市民の皆様の健康増進や福祉の向上を図ることを目的としており、公営企業として事業を実施する必要性があると判断します

6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

<p>経営戦略の事後検証、改定等に関する事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> 概ね3年をメドに、当戦略と実績との乖離状況等を確認いたします 当戦略は、社会情勢や対処すべき課題の変化等に応じ、適宜、改定いたします
----------------------------	---

【●ゆとりおん大雄】

- (1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり
- (2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

<p>目 標</p>	<p>・R3年度実施の改修工事コンサルティング結果に基づき、老朽化が進む建物、設備のうち改修更新必要度の高い事項について計画的に対応し、温泉サービス等の適切かつ安全な提供を図ります</p>
------------	--

【必要度の高い投資内容】

「屋上改修」=屋上防水シート破損(16,900千円)
 「外壁改修」=外装仕上げ材の一部破損(26,100千円)
 「女子遠赤外線温浴修繕」=遠赤外線温浴ベッド一部故障(600千円)
 「熱回収システムポンプ修繕」=ポンプの一部不具合発生(1,100千円)

※上記概算コストは直接工事費のみの金額であり、共通仮設費等は含んでおりません
 ※当該コストについては、一般会計からの繰り入れにより対応いたします

② 収支計画のうち財源についての説明

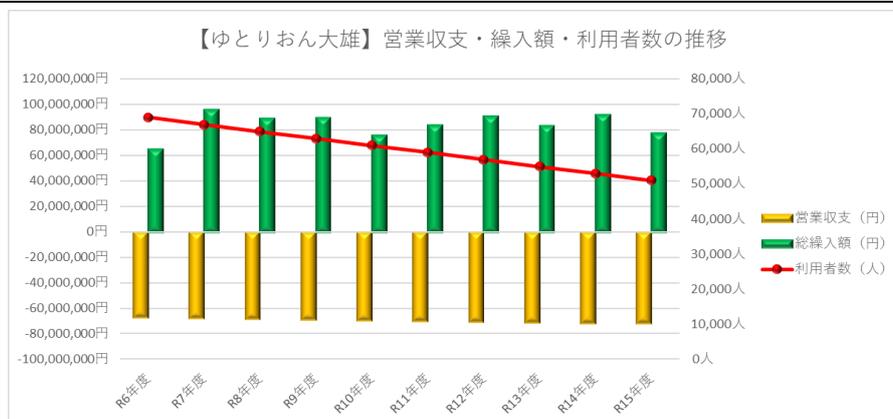
<p>目 標</p>	<p>・基本的には料金収入を財源とし運営することとなりますが、利用者数や料金収入の劇的な回復が見込めない中、温泉施設の存続を図るため、一般会計からの繰り入れを実施いたします</p>
------------	--

【料金収入】

・当市人口動態、消費行動や生活様式の変容等に加え、行政経営の施設が集客に注力し過ぎることは民業圧迫を助長する側面があることを考慮し、利用者数、料金収入とも減少することを前提としています
 ・基準となるR6年度収入は、R5年度利用者数がコロナ禍前数値に近づくことも想定されることから、R5年度決算見込値と同額といたしました。翌年度への繰越金は最小限に留めることとし、利用者数の減少も見込みながらR15年度までの推計値を算出しておりますが、今後の経営状況等を確認しながら適宜、計画値を見直します
 ・また、適切な施設、設備改修等を実施することにより、利用者の利便性向上を図ります

【一般会計からの繰り入れ】

・施設の経営、維持に不足する分については、一般会計からの繰り入れを実施いたします。なお、利用者数&収入とも減少見込みにつき、繰入額が増加する計画としております



③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

【委託料】

・施設本体や温泉供給設備の保守点検、水質検査等の委託であり、引き続き、実施いたします

【人件費】

・正職員1名のほか、会計年度任用職員による現運営体制を維持します

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

※投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。

また、(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

① 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	・民間事業者への施設の譲渡を図ります
投資の適正化	・老朽設備等の計画的な更新を実施することにより、投資額の平準化を図ります
その他の取組	・特筆すべき事項はありません

② 今後の財源についての考え方・検討状況

料金	・施設の経営や繰入額の状況により、料金の見直しを検討します
稼働率・利用者数	・特筆すべき事項はありません
企業債	・特筆すべき事項はありません
繰入金	・特筆すべき事項はありません
資産の有効活用等による収入増加の取組	・特筆すべき事項はありません
その他の取組	・特筆すべき事項はありません

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委託料	・特筆すべき事項はありません
管理運営費	・電気料金等経営コスト上昇顕著につき、更なるコスト圧縮の手法を検討します
職員給与費	・特筆すべき事項はありません
その他の取組	・特筆すべき事項はありません

5. 公営企業として実施する必要性など

事業の意義、提供するサービス自体の必要性	・市民の皆様の健康増進や交流促進、福祉の向上等に寄与しており、必要性があるサービスと判断します
公営企業として実施する必要性	・市民の皆様の健康増進や福祉の向上を図ることを目的としており、公営企業として事業を実施する必要性はありますが、市が所有する他の施設や他の民間温泉施設とのバランス等を考慮する必要があると判断しております

6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、 改定等に関する事項	・概ね3年をメドに、当戦略と実績との乖離状況等を確認いたします ・当戦略は、社会情勢や対処すべき課題の変化等に応じ、適宜、改定いたします
-------------------------	---

投資・財政計画 (収支計画_さくら荘)

(単位:千円, %)

区 分		年 度		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度
		(決算)	(決算見込)	(決算)											
収 益	収益的収入	1 総 収 益 (A)		146,208	168,226	163,472	157,212	150,952	144,692	138,432	133,737	129,042	124,347	119,652	114,957
		(1) 営 業 収 益 (B)		103,477	119,750	119,750	109,111	98,472	87,833	77,194	69,215	61,236	53,257	45,278	37,299
		ア 料 金 収 入		103,477	119,750	119,750	109,111	98,472	87,833	77,194	69,215	61,236	53,257	45,278	37,299
		イ 受 託 工 事 収 益 (C)													
		ウ そ の 他													
		(2) 営 業 外 収 益		42,731	48,476	43,722	48,101	52,480	56,859	61,238	64,522	67,806	71,090	74,374	77,658
		ア 他 会 計 繰 入 金		42,231	48,067	43,222	47,601	51,980	56,359	60,738	64,022	67,306	70,590	73,874	77,158
	イ そ の 他		500	409	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	
	収益的支出	2 総 費 用 (D)		147,726	165,472	165,472	159,212	152,952	146,692	140,432	135,737	131,042	126,347	121,652	116,957
		(1) 営 業 費 用		147,726	165,472	165,472	159,212	152,952	146,692	140,432	135,737	131,042	126,347	121,652	116,957
		ア 職 員 給 与 費		67,312	73,204	73,204	70,434	67,664	64,894	62,124	60,047	57,970	55,893	53,816	51,739
		うち退職手当													
		イ そ の 他		80,414	92,268	92,268	88,778	85,288	81,798	78,308	75,690	73,072	70,454	67,836	65,218
		(2) 営 業 外 費 用													
ア 支 払 利 息															
うち一時借入金利息															
うち資本費平準化債分															
イ そ の 他															
3 収 支 差 引 (A)-(D) (E)		△ 1,518	2,754	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	
資 本 的 収 入	資本的収入	1 資 本 的 収 入 (F)		1,668		9,860				24,480	10,080	3,780	5,940	7,200	10,080
		(1) 地 方 債													
		うち資本費平準化債													
		(2) 他 会 計 補 助 金		1,668		9,860				24,480	10,080	3,780	5,940	7,200	10,080
		(3) 他 会 計 借 入 金													
		(4) 固 定 資 産 売 却 代 金													
		(5) 国 (都 道 府 県) 補 助 金													
	(6) 工 事 負 担 金														
	(7) そ の 他														
	資本的支出	2 資 本 的 支 出 (G)		1,668		9,860				24,480	10,080	3,780	5,940	7,200	10,080
		(1) 建 設 改 良 費		1,668		9,860				24,480	10,080	3,780	5,940	7,200	10,080
		うち職員給与費													
		(2) 地 方 債 償 還 金 (H)													
		うち資本費平準化債償還金													
(3) 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金															
(4) 他 会 計 へ の 繰 出 金															
(5) そ の 他															
3 収 支 差 引 (F)-(G) (I)															

投資・財政計画 (収支計画_さくら荘)

(単位:千円, %)

年 度	R4年度 (決算)	R5年度 (決算 見込)	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度
区 分												
収 支 再 差 引 (E)+(I) (J)	△ 1,518	2,754	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000
積 立 金 (K)												
前年度からの繰越金 (L)	4,782	3,266	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
前年度繰上充用金 (M)												
形 式 収 支 (J)-(K)+(L)-(M) (N)	3,264	6,020										
翌年度へ繰り越すべき財源 (O)												
実 質 収 支 黒 字 (P)	3,264	6,020										
(N)-(O) 赤 字 (Q)												
赤 字 比 率 ($\frac{(Q)}{(B)-(C)} \times 100$)												
収益的収支比率 ($\frac{(A)}{(D)+(H)} \times 100$)												
地方財政法施行令第16条第1項により算定した 資金の不足額 (R)												
営業収益－受託工事収益 (B)-(C) (S)	103,477	119,750	119,750	109,111	98,472	87,833	77,194	69,215	61,236	53,257	45,278	37,299
地方財政法による 資金不足の比率 ((R)/(S)×100)												
健全化法施行令第16条により算定した 資金の不足額 (T)												
健全化法施行規則第6条に規定する 解消可能資金不足額 (U)												
健全化法施行令第17条により算定した 事業の規模 (V)												
健全化法第22条により算定した 資金不足比率 ((T)/(V)×100)												
他会計借入金残高 (W)												
地 方 債 残 高 (X)												

○他会計繰入金

(単位:千円)

年 度	R4年度 (決算)	R5年度 (決算 見込)	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度
区 分												
収益的収支分	42,231	48,067	43,222	47,601	51,980	56,359	60,738	64,022	67,306	70,590	73,874	77,158
うち基準内繰入金												
うち基準外繰入金	42,231	48,067	43,222	47,601	51,980	56,359	60,738	64,022	67,306	70,590	73,874	77,158
資本的収支分	1,668		9,860				24,480	10,080	3,780	5,940	7,200	10,080
うち基準内繰入金												
うち基準外繰入金	1,668		9,860				24,480	10,080	3,780	5,940	7,200	10,080
合 計	43,899	48,067	53,082	47,601	51,980	56,359	85,218	74,102	71,086	76,530	81,074	87,238

投資・財政計画 (収支計画_ゆっふる)

(単位:千円, %)

区 分		年 度		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度
		(決算)	(決算見込)	(決算)											
収 益	収益的収入	1 総 収 益 (A)		93,216	99,064	106,358	105,516	104,674	103,832	102,990	102,148	101,306	100,464	99,622	98,780
		(1) 営 業 収 益 (B)		59,347	64,000	64,000	62,927	61,854	60,781	59,708	58,635	57,562	56,489	55,416	54,343
		ア 料 金 収 入		59,347	64,000	64,000	62,927	61,854	60,781	59,708	58,635	57,562	56,489	55,416	54,343
		イ 受 託 工 事 収 益 (C)													
		ウ そ の 他													
		(2) 営 業 外 収 益		33,869	35,064	42,358	42,589	42,820	43,051	43,282	43,513	43,744	43,975	44,206	44,437
		ア 他 会 計 繰 入 金		33,201	34,790	41,858	42,089	42,320	42,551	42,782	43,013	43,244	43,475	43,706	43,937
	イ そ の 他		668	274	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	
	収益的支出	2 総 費 用 (D)		94,893	108,358	108,358	107,516	106,674	105,832	104,990	104,148	103,306	102,464	101,622	100,780
		(1) 営 業 費 用		94,893	108,358	108,358	107,516	106,674	105,832	104,990	104,148	103,306	102,464	101,622	100,780
		ア 職 員 給 与 費		41,396	47,947	47,947	47,574	47,201	46,828	46,455	46,082	45,709	45,336	44,963	44,590
		うち退職手当													
		イ そ の 他		53,497	60,411	60,411	59,942	59,473	59,004	58,535	58,066	57,597	57,128	56,659	56,190
		(2) 営 業 外 費 用													
ア 支 払 利 息															
うち一時借入金利息															
うち資本費平準化債分															
イ そ の 他															
3 収 支 差 引 (A)-(D) (E)		△ 1,677	△ 9,294	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	
資 本 的 収 入	資本的収入	1 資 本 的 収 入 (F)		6,217	2,382	4,209						6,300	1,800	180	3,600
		(1) 地 方 債													
		うち資本費平準化債													
		(2) 他 会 計 補 助 金		6,217	2,382	4,209						6,300	1,800	180	3,600
		(3) 他 会 計 借 入 金													
		(4) 固 定 資 産 売 却 代 金													
		(5) 国 (都 道 府 県) 補 助 金													
	(6) 工 事 負 担 金														
	(7) そ の 他														
	資本的支出	2 資 本 的 支 出 (G)		6,217	2,382	4,209						6,300	1,800	180	3,600
		(1) 建 設 改 良 費		6,217	2,382	4,209						6,300	1,800	180	3,600
		うち職員給与費													
		(2) 地 方 債 償 還 金 (H)													
		うち資本費平準化債償還金													
(3) 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金															
(4) 他 会 計 へ の 繰 出 金															
(5) そ の 他															
3 収 支 差 引 (F)-(G) (I)															

投資・財政計画 (収支計画_ゆっふる)

(単位:千円, %)

区 分	年 度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度
		(決算)	(決算見込)										
収支再差引	(E)+(I)	(J)	△ 1,677	△ 9,294	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000
積立金	(K)												
前年度からの繰越金	(L)	10,971	9,294	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
前年度繰上充用金	(M)												
形式収支	(J)-(K)+(L)-(M)	(N)	9,294										
翌年度へ繰り越すべき財源	(O)												
実質収支黒字	(N)-(O)	(P)	9,294										
赤字	(N)-(O)	(Q)											
赤字比率	(Q) / ((B)-(C)) × 100												
収益的収支比率	(A) / ((D)+(H)) × 100												
地方財政法施行令第16条第1項により算定した資金の不足額	(R)												
営業収益－受託工事収益	(B)-(C)	(S)	59,347	64,000	64,000	62,927	61,854	60,781	59,708	58,635	57,562	56,489	55,416
地方財政法による資金不足の比率	((R)/(S)) × 100												
健全化法施行令第16条により算定した資金の不足額	(T)												
健全化法施行規則第6条に規定する解消可能資金不足額	(U)												
健全化法施行令第17条により算定した事業の規模	(V)												
健全化法第22条により算定した資金不足比率	((T)/(V)) × 100												
他会計借入金残高	(W)												
地方債残高	(X)												

○他会計繰入金

(単位:千円)

区 分	年 度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度
		(決算)	(決算見込)										
収益的収支分		33,201	34,790	41,858	42,089	42,320	42,551	42,782	43,013	43,244	43,475	43,706	43,937
うち基準内繰入金													
うち基準外繰入金		33,201	34,790	41,858	42,089	42,320	42,551	42,782	43,013	43,244	43,475	43,706	43,937
資本的収支分		6,217	2,382	4,209						6,300	1,800	180	3,600
うち基準内繰入金													
うち基準外繰入金		6,217	2,382	4,209						6,300	1,800	180	3,600
合 計		39,418	37,172	46,067	42,089	42,320	42,551	42,782	43,013	49,544	45,275	43,886	47,537

投資・財政計画 (収支計画_ゆとりおん大雄)

(単位:千円, %)

区 分		年 度		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度
		(決算)	(決算見込)	(決算)											
収 益	収益的収入	1 総 収 益 (A)		100,689	112,675	117,499	114,603	111,707	108,811	105,915	103,019	100,123	97,227	94,331	91,435
		(1) 営 業 収 益 (B)		48,537	52,402	52,402	48,962	45,522	42,082	38,642	35,202	31,762	28,322	24,882	21,442
		ア 料 金 収 入		48,537	52,402	52,402	48,962	45,522	42,082	38,642	35,202	31,762	28,322	24,882	21,442
		イ 受 託 工 事 収 益 (C)													
		ウ そ の 他													
		(2) 営 業 外 収 益		52,152	60,273	65,097	65,641	66,185	66,729	67,273	67,817	68,361	68,905	69,449	69,993
		ア 他 会 計 繰 入 金		51,810	59,951	64,797	65,341	65,885	66,429	66,973	67,517	68,061	68,605	69,149	69,693
	イ そ の 他		342	322	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	
	収益的支出	2 総 費 用 (D)		100,206	119,499	119,499	116,603	113,707	110,811	107,915	105,019	102,123	99,227	96,331	93,435
		(1) 営 業 費 用		100,206	119,499	119,499	116,603	113,707	110,811	107,915	105,019	102,123	99,227	96,331	93,435
		ア 職 員 給 与 費		37,587	42,649	42,649	41,615	40,581	39,547	38,513	37,479	36,445	35,411	34,377	33,343
		ウ ち 退 職 手 当													
		イ そ の 他		62,619	76,850	76,850	74,988	73,126	71,264	69,402	67,540	65,678	63,816	61,954	60,092
		(2) 営 業 外 費 用													
ア 支 払 利 息															
ウ ち 一 時 借 入 金 利 息															
ウ ち 資 本 費 平 準 化 債 分															
イ そ の 他															
3 収 支 差 引 (A)-(D) (E)			483	△ 6,824	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000
資 本 的 収 入	資本的収入	1 資 本 的 収 入 (F)		1,969			30,420	23,490	23,490	8,820	16,326	22,500	14,760	22,680	8,190
		(1) 地 方 債													
		ウ ち 資 本 費 平 準 化 債													
		(2) 他 会 計 補 助 金		1,969			30,420	23,490	23,490	8,820	16,326	22,500	14,760	22,680	8,190
		(3) 他 会 計 借 入 金													
		(4) 固 定 資 産 売 却 代 金													
		(5) 国 (都 道 府 県) 補 助 金													
	(6) 工 事 負 担 金														
	(7) そ の 他														
	資本的支出	2 資 本 的 支 出 (G)		1,969			30,420	23,490	23,490	8,820	16,326	22,500	14,760	22,680	8,190
		(1) 建 設 改 良 費		1,969			30,420	23,490	23,490	8,820	16,326	22,500	14,760	22,680	8,190
		ウ ち 職 員 給 与 費													
		(2) 地 方 債 償 還 金 (H)													
		ウ ち 資 本 費 平 準 化 債 償 還 金													
(3) 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金															
(4) 他 会 計 へ の 繰 出 金															
(5) そ の 他															
3 収 支 差 引 (F)-(G) (I)															

投資・財政計画 (収支計画_ゆとりおん大雄)

(単位:千円, %)

年 度	R4年度 (決算)	R5年度 (決算 見込)	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度
区 分												
収 支 再 差 引 (E)+(I) (J)	483	△ 6,824	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000
積 立 金 (K)												
前年度からの繰越金 (L)	6,605	7,088	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
前年度繰上充用金 (M)												
形 式 収 支 (J)-(K)+(L)-(M) (N)	7,088	264										
翌年度へ繰り越すべき財源 (O)												
実 質 収 支 黒 字 (P)	7,088	264										
(N)-(O) 赤 字 (Q)												
赤 字 比 率 ($\frac{(Q)}{(B)-(C)} \times 100$)												
収益的収支比率 ($\frac{(A)}{(D)+(H)} \times 100$)												
地方財政法施行令第16条第1項により算定した 資金の不足額 (R)												
営業収益－受託工事収益 (B)-(C) (S)	48,537	52,402	52,402	48,962	45,522	42,082	38,642	35,202	31,762	28,322	24,882	21,442
地方財政法による 資金不足の比率 ((R)/(S)×100)												
健全化法施行令第16条により算定した 資金の不足額 (T)												
健全化法施行規則第6条に規定する 解消可能資金不足額 (U)												
健全化法施行令第17条により算定した 事業の規模 (V)												
健全化法第22条により算定した 資金不足比率 ((T)/(V)×100)												
他会計借入金残高 (W)												
地 方 債 残 高 (X)												

○他会計繰入金

(単位:千円)

年 度	R4年度 (決算)	R5年度 (決算 見込)	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度
区 分												
収益的収支分	51,810	59,951	64,797	65,341	65,885	66,429	66,973	67,517	68,061	68,605	69,149	69,693
うち基準内繰入金												
うち基準外繰入金	51,810	59,951	64,797	65,341	65,885	66,429	66,973	67,517	68,061	68,605	69,149	69,693
資本的収支分	1,969			30,420	23,490	23,490	8,820	16,326	22,500	14,760	22,680	8,190
うち基準内繰入金												
うち基準外繰入金	1,969			30,420	23,490	23,490	8,820	16,326	22,500	14,760	22,680	8,190
合 計	53,779	59,951	64,797	95,761	89,375	89,919	75,793	83,843	90,561	83,365	91,829	77,883